

2025 大連外国語大学語学研修 参加報告書

留学期間：2025. 08. 28 - 09. 20

私は今回、三年生の夏休み期間中に大連外国語大学へ語学研修に参加いたしました。大連の空港に到着し、バスでさらに約 1 時間かけた所に大連外国語大学があります。バスには日本語が少し分かる生徒の方に同乗していただきました。



○寮について

寮についてすぐに入寮手続きを行い、それぞれ二人部屋が割り当てられます。寮にはベッドが 2 つ、机と椅子各 2 つ、ユニットバス（私がいた部屋のユニットバスにはシャワーカーテンなし）、ベランダもあり、天気良ければ洗濯物を干すこともできました。洗濯については、以前出ていた報告書と違い、地下にある共用洗濯機が使用できませんでした。なので、知り合いの半年留学生にお願いして代わりにしてもらっていました。また、大連外国語大学を出て少し歩いたところにもクリーニング屋はあるみたいですが、一度に払うお金がかなり高いと聞きました。

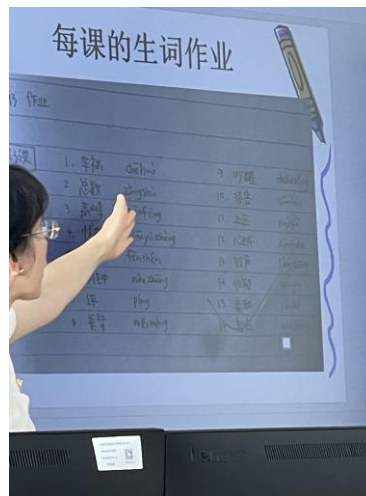
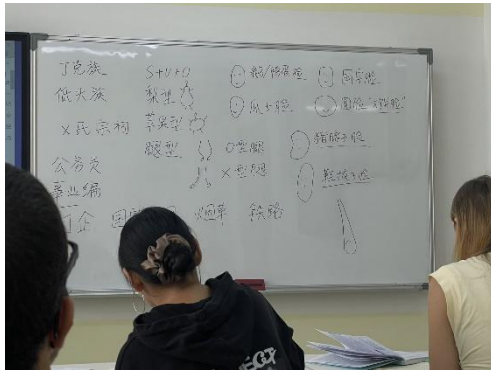
○授業について

到着後の翌日から授業がありましたが、最初の 1 週間は北九大生だけで中国語の基礎を学び、残りの 2 週間を他の留学生と一緒に受けるという流れでした。中国語の授業は朝 8 時半から始まり、11 時半に終了します。昼食は主に食堂或いは综合楼という場所ですることができます。13 時半から 14 時 50 分まで文化体験に参加します。今回の語学研修には 10 人参加したため、文化体験は到着翌日から帰国前日までありました（文化体験は参加した人数によって頻度が変わると聞きました）。中国の文化に触れることができるうえ、日本語を専攻している中国大学生の方々ともお話をすることができ、とても有意義な時間となりました。

また、以前の語学研修の報告書と異なっていた点はクラス分けのテストが実施されなかったことです。北九大生だけの授業が終わり、他の留学生と一緒に学ぶ授業を 3 日間かけて選んでいくという方針でした。クラスには初級・中級・高級があり、私は中級を選択しました

2025 大連外国語大学語学研修 参加報告書

が、初めて授業を受けたとき、他の留学生の中国語のレベルが高く、驚きを隠せませんでした。クラスを変えようか迷い、一度下のクラスの授業を受けてみましたが、せっかくなら高いレベルに慣れていけるようにしたいと思い、クラス変更はしませんでした。最初は聞き取れなかったことも語学研修後半になってくると聞き取れることが多くなっていました。高いレベルに身を置くという判断は帰国後の今も間違っていなかったと自信をもって言えます。



○休日の過ごし方について

休日(土日)には、大連外国語大学内を散策したり、大連市内や旅順口に行ったりしました。休日は特に何も予定がないので自分たちで自由に決められます。移動手段に関しては、中国ではタクシー代が日本と比べてかなり破格の値段設定なので大連市内や旅順口に行く際にはよくタクシーを利用しました。他にも地下鉄やバスなどの公共交通機関もあります。タクシーに比べると公共交通機関はより安く移動することができます。

最初の週末は、“中心广场”という広場に行き、ショッピングを楽しみ、昼食をとりました。その日は天気が良いとは言えませんでした。昼食後、旅順口の海方面まで行き、観光地を堪能しました。その翌日は、予定変更により、文化体験の餃子作り体験をしました。その際、大連外国語大学の日本語学科の学生の皆さんと一緒に餃子の餡を包んで、出来上がったものを食べました。出来上がった餃子は日本の水餃子或いは小籠包に似た感じの味でとても美味しかったです。余った餃子はテイクアウト容器に入れてくださり、寮に帰ってまた食べることができました。

2025 大連外国語大学語学研修 参加報告書



残り 2 回の週末は大連市内を主に観光しました。タクシーで約 1 時間かけて大連市内のロシア街に到着して、様々なお土産を見たり、昼食をとったりしました。観光地なだけあって設備が整っていました。中国にはたくさんの写真撮影スポットがあるので一緒にいった友達とたくさん写真も撮って思い出を作ることができます。夜には“東方水城”に行き、ゴンドラに乗りながら夜景を楽しみました。ゴンドラの電子チケットは、Trip.com で当日に買うことができます。“東方水城”にもお土産がたくさん売っているのでここで買うのもおすすめです。

また、“东关街历史文化街区”にも行きました。可愛いものや美味しものがたくさん売っていて、楽しい思い出を作ることができたと思っています。この“东关街历史文化街区”で一番行ってほしいお店は“布兰兔的植物庄园”というお茶屋です。烏龍茶や紅茶など多くの種類のお茶があり、店内もとてもきれいでお洒落です。



2025 大連外国語大学語学研修 参加報告書

中国で気を付けること

- ・タクシーを利用する際に気を付けなければならないのは、必ずアプリ（中国版 DiDi）でタクシーを呼ぶことです。アプリ使用以外でタクシーに乗ると遠回りされ、余分にお金を請求されるようなのでアプリでタクシーを呼ぶことをお勧めします。
- ・私が行った当時、寮には電子レンジが設置されていませんでした。なので、電子レンジを使いたい場合は、“大外国際文化交流中心”のレストランでしてもらうことができました。

○中国渡航前に済ませておくこと

- ・支払宝、WeChatPay の登録（パスポート・クレジットカードの登録まで済ませておくこと）

→日本の電話番号は中国では使用できません。その上短期の語学研修なので中国の電話番号を作ることが難しいです。よって、SMS が届かないことを頭に入れて事前に準備を済ませておく必要があります。

- ・eSIM を登録しておくこと

→当たり前ですが、ネットがつながないと、支払いアプリや地図が使えません。

- ・渡航する前までに、中国で使われているアプリをダウンロードしていくこと
(WeChat, Alipay, 百度, Amap もしくは百度地图, 小红书, 百度翻译, 両替電卓)

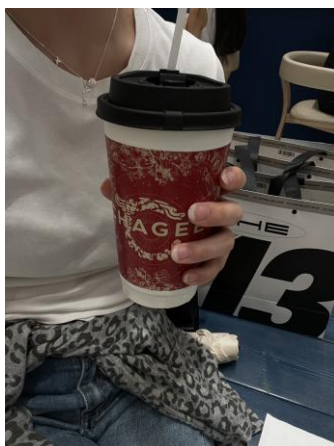
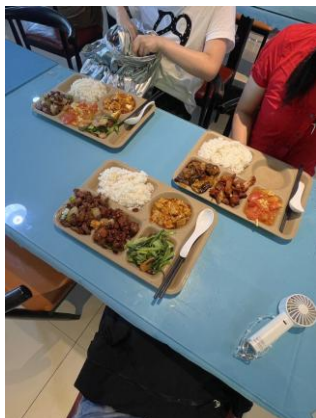
○中国に持っていくべきもの

- ・風邪薬、飴、下痢ストッパー
- ・ティッシュペーパー…トイレには基本的にトイレットペーパーは備え付けられていません。流さず、ごみ箱に捨てるタイプなので流せるペーパーでなくても大丈夫です。
- ・海外対応のドライヤー、ヘアアイロン…日本 110V, 中国 220V のため
- ・フリーズドライの味噌汁、パックご飯、日本のお菓子を少しずつ
- ・洗面・バス用品…日本の商品も売っていますが、ある程度持って行った方がいいと思います。
- ・疲れをとるグッズ（少量）…めぐりズム、足リラシートや休息时间などの足に貼るシート
- ・消臭スプレー…中国の独特なおいはかなり服につきます。
- ・ハンガーや洗濯ネット、洗濯ばさみ…前の留学生が置いて帰ってハンガーなどがある部屋もありますが、ないと思って行った方がいいです。
- ・羽織るもの数枚…私が行った当時（9 月）の中国大連は、季節の進みが日本より圧倒的に早く、語学研修後半の朝晩はかなり冷えしました。

○中国に持っていかなくてよかったと思ったもの

電子辞書…ケータイの翻訳機で十分な上、思ったよりも荷物になります。

2025 大連外国語大学語学研修 参加報告書



○今回語学研修に行って感じたこと

語学研修を通して、自分がいかに中国語を習得しきれていないことを痛感しました。語学研修前半は、授業で聞く音声とは比にならないぐらいのスピードで話しかけられて全く反応できませんでした。しかし、中国語を完璧にわかるようになったわけではありませんが、ほんの少しリスニング力とスピーキング力は上がったと実感しています。海外での三週間ちょっとは長いように感じてあっという間に過ぎていきました。外国語を聞き取ろうと集中することはとても神経を使うのでいつもと違った疲労がありました。その疲労も心地いいものになっていきました。たった三週間ちょっとではありますが、とてもいい経験となりました。これを見て少しでも行きたいと思っていただければ幸いです。

